2016年8月20日（土）　インド大使館　ウパニシャッド（第11回）

≪ウパニシャッドを勉強する目的≫

今日は初めにウパニシャッド（聖典）を勉強する目的についてお話しします。その目的がわからないと勉強を途中でやめてしまうことにもなるからです。

大学でも聖典を教えているところがあります。そこでの目的は学生にとっては試験にパスして就職するためであり教師にとっては給料をもらうためです。もう一つ別の目的があります。それは、聖典に興味があり聖典を知りたいという目的です。その目的で勉強している学生もいますし教えている先生もいます。

我々がウパニシャッドを勉強する目的は２つです。**聖典（ヒンドゥー教の聖典）のことを知りたい、真理のことを知りたい**ということが一つの目的です。**もっと深い目的は人生に関係した目的です**。

≪聖典の勉強を続けることによって≫

このクラスでの勉強には特別な雰囲気がありますのでその影響もありますが、ここで勉強しますと**考え方が深くなります**。皆さんの考えはいつも浅いです。聖典の勉強をしますと無意識で考え方はだんだんと深くなります。

皆さんは仕事より思いがもっと大事ではないですか。最初は思い、それから仕事ではないですか。もしあなたが「深く考える人」になりますと、あなたが仕事をするときにもその影響が出ます。もしあなたが「深い人」になりたいのであればこのような聖典の勉強はとても大事です。聖典を勉強しますと、**考え、考え方、考えるものはだんだん深くなります**。

そして**この勉強は人生に関係しています**。皆さんは子どもではないですからけっこう経験をお持ちですね。ですから皆さんの理解はだいたいできています。人生が一番大事です。お金ではないし、親戚でもないし、富でもありません。**一番大事なのは人生**ですね。この勉強は**人生での振る舞い**（attitude）に影響があります。

例えば、皆さんには楽しみがありますが、悲しみや苦しみもたくさんあります。間違いや過ちもたくさんあります。しかし、そのことがわかっていてもそれ（悲しみ、苦しみ、過ち）をどのように解決したらよいかのがわかりません。聖典の勉強によってあなたはそのような**人生の問題をどのように解決したらよいかのヒントをもらいます**。そのヒントは他からは得られないです。例えば、映画を見ても普通の本を読んでもその問題を解決することはできません。聖典の勉強はその問題を解決するためにとても助けになります。

≪ウパニシャッドの勉強が続かない理由≫

しかし、**聖典（ウパニシャッド）の勉強はおもしろくないという考え**があります。バガヴァッド・ギーターは少し面白いと考えるのが普通でしょうが、ウパニシャッドは全然面白くないと考えるかもしれません。なぜならば、ウパニシャッドの中には**物語があまりありませんし、テーマが同じ**だからです。勉強のテーマはシリアスであっても新しいテーマと内容というように変化があれば興味が続きます。しかし、ウパニシャッドの内容は一つだけです。５分間でその内容を理解して充分になる可能性があります（笑い）。「もういいです。なぜなら私は理解できていますから」というように。

その内容とは、「**絶対の真理が実在**です。それ以外すべてのものは非実在です」ということです。例えば、宇宙、人間は非実在です。宇宙、人間の存在はみたいです。しかし、これらがブラフマンの現れであると考えるのは正しいです。それが面白いです。ブラフマン以外にブラフマンはなく宇宙だけと考えるとその宇宙は幻です。私の言うことがわかりますか。それがウパニシャッドの内容です。

**ブラフマンと絶対の真理は一緒**です。**ブラフマンと絶対の真理だけが実在**です。宇宙だけを考えればそれは非実在です。しかし、宇宙はブラフマンの現れたものであると考えれば宇宙は幻ではないです。

そして皆さんが、絶対の至福、絶対の知識をもらいたいのであれば、**実在のことをいつも考えてください**。非実在のことを避けて実在のことをずっともっともっと考えてください。これがウパニシャッドの内容です。５分もかからないで話したかもしれません。３分で終わりますね（笑い）。

私が言うことは同じ内容です。そしておもしろくない。そして普通には勉強する気が起こらない可能性がけっこうあります。「一回だけで充分です。また行きたくない」となりかねません。

もう一つは**理解するのが難しい**ということがあります。どうして難しいかと言えば、**とても精妙なものだから**です。感覚的なものは経験がたくさんありますからわかりやすいです。しかし、これは感覚的なものではないです。**魂**ですから。そしてとても精妙です。それが理解が難しいという理由です。

≪勉強を続けるには≫

ですから勉強を続けることはチャレンジのようです。内容が同じでおもしろくないですし、内容の理解も難しいです。ですけれども、**この勉強は人生のためにとても大事**であり、**他の勉強では人生の問題を解決するのにあまり助けにならないことを考えますと（勉強の目的を理解しますと）勉強は続きます**。勉強の目的を理解しなければ、我々は勉強を続けようという気にはなりません。

もう一つ、**このような種類の勉強のチャンスがそれほどないことも考えてください**。インドではけっこうありますけれども日本ではそれほどありません。英語が理解できればインターネットで勉強する機会もありますが、インターネットを利用して**日本語でウパニシャッドの勉強をする機会はあまりない**と思います。皆さんはできるだけ**このチャンス（このクラス）を利用する**のがよいかもしれません。

どうでしょうか。ウパニシャッドを勉強する目的を理解することはできましたか？勉強を続けるときに問題となることはわかりましたか？日本ヴェーダーンタ協会のホームページに少し記載はありますがあまり詳しいことは載っていません。

勉強を続けますと理解のレベルはだんだん上がります。途中から入りますと難しいですが、**途中から入る方のために**協会のホームページに今までの講話が（音声データとテキストデータで）アップロードされていますから、それをゆっくりゆっくり見てください。

講話ではいつもできるだけゆっくりゆっくりと説明しています。そして質問の時間も（講話の後に）用意していますから、質問があればそのときに質問してください。

≪ウパニシャッド、ブラフマンについて≫

我々はそろそろウパニシャッドのテキストに入りますが、今はその理解の準備のためのお話を続けています。我々が勉強している内容は、ウパニシャッドの考えでブラフマン、真理です。絶対の真理、ブラフマンとは何かについてウパニシャッドの中にあるいろいろな句をピックアップして説明しています。内容はすべてブラフマンの本性についてです。

ブラフマン－実在－絶対の真理、これらは皆一緒です。では、ブラフマンの特徴は何でしょうか。それは、無限、永遠、絶対、自由、至福、純粋な意識です。偉大なレベルの純粋な意識はブラフマンです。

しかし、皆さんは永遠、無限、自由、絶対、至福について言葉だけ聞いてもあまり（ブラフマンの）イメージが出ていないですね。イメージが出ていないですからウパニシャッドはイメージのために一所懸命いろいろ方法でいろいろ言葉を使って同じこと（ブラフマン）を説明しています。ウパニシャッドは我々のお母さんのようです。

バガヴァッド・ギーターの中に「バガヴァッド・ギーターは我々のお母さんです」という言葉があります。どうしてお母さんなのでしょうか。お母さんはいつも子どもたちの面倒をみています。お母さんは子どもたちを養い育てます。食事を用意して食べさせ飲ませます。

ですがお母さんのサポートはまでです。「聖典のお母さん」のサポートは今生だけではなく来世もずっと続きます。

そして、普通のお母さんのサポートの力には限度がありませんか。いろいろな悩みがあるときにお母さんは苦しみ悲しみの心をサポートすることはできません。心に問題があるとき、お母さんはサポートできますか。聖典はサポートします。バガヴァッド・ギーター、ウパニシャッドはサポートします。

バガヴァッド・ギーターがお母さんだとすれば、ウパニシャッドはバガヴァッド・ギーターのお母さんですから、**ウパニシャッドは我々の「お母さんのお母さん」**のようです。

さきほど言いましたように（ブラフマンを）イメージできないですからウパニシャッドはいろいろな方法で教えています。そして教えるときにウパニシャッドの我慢はなくなっていません。なぜなら、わからないとまた説明します。理解できていないとまた説明します。ウパニシャッドに我慢の限度はないみたいです。

普通のお母さんに限度はありますか。けっこうあります（笑い）。我慢がなくなりますと怒っていますね。ウパニシャッドは怒ってないです（笑い）。わからなければ、また例を使っていろいろ説明してくれます。しかし、あなたの我慢も必要です。もしあなたの我慢がなくなりますとあなたはまた参加しなくなりますね。私のこの冗談がわかりますか。

勉強する人の我慢がなくなりますとここに来なくなります。しかし、ウパニシャッドの我慢はなくなりません。そしていろいろな方法で同じことを教えています。なぜなら、ウパニシャッドは理解が難しいということをよく知っています。とても精妙ですから。

普通の皆さんの考え方は全く反対です。９９．９％の人の考え方、やり方はウパニシャッドの言うこととまるで反対です。そして皆さんは理解したくても理解するのが難しい。例えば、「私は身体ではない、私は魂です」ということを何回も聞いていますね。しかし、聞いても理解はできていません。なぜなら、皆さんには前世があり、そして生まれてから死ぬまで周りの人の考えは「私は身体」だからです。ウパニシャッドの言うことは反対です。そしてその理解は難しい。

聞いても入らないですね。一つの物語があります。或るヒンドゥー教徒がいました。ドゥルガー（女神）の深い信者です。いつもジャパで「ドゥルガー、ドゥルガー・・・」と唱えています。或るとき、イスラム教徒がその人にイスラム教への改宗を強制しました。今からあなたは「アッラー、アッラー」と唱えなさいと。しかし、改宗を強制されたその人は「アッラー、アッラー」と言ってもすぐにまた「ドゥルガー、ドゥルガー」が出てきます。それを聞いてイスラム教徒はとても怒り、今度ドゥルガーの名前を唱えたらあなたを殺しますと脅迫しました。その人は、「殺さないでください、私は一所懸命唱えたいですけれど、アッラーは入らないです。なぜなら首までドゥルガーですから。ドゥルガーがあなたのアッラーを押しのけています。ドゥルガーが私の首まで入っていますからアッラーは入りたくてもドゥルガーが押しのけていて入れません」と命乞いをしました。（「ラーマクリシュナの福音」（日本ヴェーダーンタ協会発行）p.479参照）

我々は世俗的な考えに首まで浸かっていますから、「ブラフマン、ブラフマン」と聞いてもそれを（世俗的な考えが）押しのけるので入らないです。何回聞いても入りません。それが問題です。

ですけれども失望しないでください。**失望しないで続けてください**。そうしますとだんだんとアクセスすることができます。これが大事です。**それが我慢です**。失望しないで続けますとだんだんだんだんアッラーは入ります（笑い）。そうしないと難しいです。

そして、さきほど言いましたが、ウパニシャッドは何回もいろいろな方法で同じことを説明しています。例えば、「すべてはブラフマン」と聞いてもその印象が出ないですから、ウパニシャッドは何回も個々に、「これもブラフマン、これもブラフマン、これもブラフマン、これもブラフマン・・・」というようにブラフマンのイメージを提供しています。そうしないとイメージが浅くなります。

信仰の深い信者は「すべては神」と考えますが、「すべての生き物、すべての物が神」ということを聞いても普通にはあまり印象は出ないです。しかし、そうしないで、**目の前の人、目の前の物**を、それもブラフマン、それもブラフマン、それもブラフマン、これもブラフマン、これもブラフマン、これもブラフマン、これも神・・・と考えますとだんだんだんだん印象が深くなります。

そしてウパニシャッドは一つ一つ例を使って、これもブラフマン、これもブラフマン、そのことを考えてくださいというやり方で説明しています。「すべての生き物、すべての物はブラフマン」と聞いても理解はできていないですから、ウパニシャッドはたくさんの例、たくさんの状況をつくってその印象が出るようにしています。

ここで考えてください。すべての生き物がブラフマンであれば私もブラフマンでしょう。ブラフマンは永遠ですから私も永遠でしょう。本当の私（私の本性）は永遠でしょう。ですけれども、どうして死の恐怖が出ていますか。それは矛盾ではないですか。

そのわけは印象が本当はまだ出ていないからです。印象が出ますと死の恐怖はなくなります。もし私は死にませんという考えがあって、本当に信じていますと死の恐怖は出ないです。ウパニシャッドは理解できるまで一所懸命同じことをいろいろな方法で説明しています。

≪ウパニシャッドからの引用句⑯の説明≫

シュヴェーターシュヴァタラ・ウパニシャッドの中に⑯句があります（配布プリントp. 3参照）。（プリントp. 3は、日本ヴェーダーンタ協会ホームページ ＞ テキストギャラリー ＞ ウパニシャッド中の＜ウパニシャッド講座に使用するプリント＞のプリント３.pdfでダウンロードすることができます）

　⑯　tvam strī tvam pumānasi tvam kumāra uta

　　（トゥヴァㇺ　ストゥリー　トゥヴァㇺ　プマーナシ　トゥヴァㇺ　クマーラ　ウタ）

　　　vā kumārī tvam jīrṇo daṇḍena vañcasi

　　（ヴァー　クマーリー　トゥヴァㇺ　ジールノー　ダンデーナ　ヴァンチャシ）

　　　tvam jāto bhabasi viśvato mukhaḥ

　　（トゥヴァㇺ　ジャートー　バヴァシ　ヴィシュヴァトー　ムッカㇵ）

［マハラジの朗誦の後に続いて皆で朗誦し、最後にマハラジと皆が一緒に朗誦］

「ウパニシャッド」（日本ヴェーダーンタ協会発行、第２刷、p. 238、7～10行）に翻訳がありますので見てください。

　　*汝は女なり、汝は男なり、*

*汝は若者なり、汝は乙女なり、*

*汝は杖つきてよろめく老人なり、*

*汝はあらゆる所に御顔を向けたもう。*

この句はシュヴェーターシュヴァタラ・ウパニシャッドの一部分です。言葉を分けて説明します。tvam strī（トゥヴァㇺ　ストゥリー）は「あなたは女性です」という意味です。あなたとは、ブラフマンについて、絶対の真理について言っていますので、「おおブラフマン、おお絶対の真理、あなたは女性です」となります。

tvam pumānasi（トゥヴァㇺ　プマーナシ）は「あなたは男性です」という意味です。tvam kumāra（トゥヴァㇺ　クマーラ）は「あなたは若いです」という意味で、例えば、若い男性です。uta vā kumārī（ウタ　ヴァー　クマーリー）は「若い女性です」という意味です。

tvam jīrṇo daṇḍena vañcasi（トゥヴァㇺ　ジールノー　ダンデーナ　ヴァンチャシ）は「足がふらついているお年寄り」で「いつも杖を使っています」という意味です。それもブラフマンです。

tvam jāto bhabasi viśvato mukhaḥ（トゥヴァㇺ　ジャートー　バヴァシ　ヴィシュヴァトー　ムッカㇵ）は「それだけではなく、あなたはすべての形になりました」という意味です。若い人と言っていますが子どもはブラフマンではないでしょうか。いいえ、子どももブラフマンです。ここに挙げられているのはシンボルです。若い人、お年寄り、それらはシンボルです。言っているのはすべての人であり、人間だけでなく動物もブラフマンです。すべての生き物がブラフマンです。

しかし、普通の人を見て、本当は中のものは皆一緒と考えますか。その考えは出ていないですね。我々は外を見ていますから皆バラバラという考えが出ています。外見がバラバラですから、人もバラバラだという考えではないですか。

どれほどバラバラでしょうか。人の皮膚の色はバラバラですし、言葉もバラバラです。例えば、我々は人を見るとき、その人はアメリカ人、その人はインド人と区別しています。日本人であっても、関西、関東、九州、沖縄など、住んでいる場所で区別していませんか。例えば、その人が関西に住んでいるか沖縄に住んでいるかでその人に対する印象は変わりますね。「おお、沖縄の方ですか」とその人を沖縄のイメージで捉えますね。外を見てイメージが出ています。本当のイメージ（本性がブラフマンであるというイメージ）は出ないです。

人を見るとき、女性、男性として見るのは普通ではないですか。女性を見て一つ印象が出ます。男性を見て一つ印象が出ます。そして女性が女性を見ますと一つ印象がでますが、男性が女性を見ますと別の印象が出ます。外を見て印象が出ますから皆全然別々に見えます。少なくとも皆人間という考えは出ないです。それほど我々は外から見た印象で人を見ています。

しかし、それは実在ではないでしょう。それは真理ではないです。なぜなら、外のものは一時的ではないですか。例えば、今はとても美人に見えても、10年くらい後はまた別でしょう。自分の写真を見てください。子どものころの写真、若いときの写真、年を取ってからの写真。みんなバラバラではないですか。そのように我々の印象の基礎は変化しています。基礎が別々ですから印象も別々になっています。

しかし、それは真理ではないです。**真理はいつも一つ**ではないですか。外から見て作った印象は真理ではありません。真理の基準は何ですか。**永遠**であり**変化しない**ものです。

我々はいつも外から見て印象を作っていますが、ウパニシャッドの言うことは、「そうしないで**中を見てください**」です。先ほど、「浅い考え」と「深い考え」と言いましたが、「浅い人」は外だけを見て印象を作っています。しかし、その印象は間違いです。例えば、その人の顔を見てその人は悪い人かもしれないと考えましたが、本当は悪い人ではなく本当はとても良い人だったという経験はありませんか。外を見て、ああその方は素晴らしい、その方はとても美しい、ですからたぶん美しい人と思いましたが、実際には内面は全然違っていた、まるで反対だった（笑い）ということはありませんか。

外から見て印象を作りますがそれが問題です。浅い人はそうします。結婚したい人は外見で判断せずに内面はどうかをよく考えて結婚した方が良いかもしれない。若い人のためにその助言が大事かもしれません。浅い考えの人はそこまで待っていません。感情的で、衝動的です。感情的ですから外から見て一時的な印象で決めています。それで後で困っています。

ウパニシャッドを勉強すると考え方が深くなります。ウパニシャッドは「外から見て一つ印象がでますけれども中に入りますと本当は皆ブラフマンです」と言っています。外を見て印象を作らないでください。**外から見て印象を作らないで中に入ってください**。なぜなら、外から見ただけで印象を作りますと後でその考え、やり方は間違っていたとなる可能性があり、後で困ることになりますから。

ウパニシャッドは「中に入りますと本当は皆ブラフマンです」と言っています。そのことを理解するとどんな結果が出ますか。ウパニシャッドではあまりそのことを言っていませんが、その人の中のことを理解して印象を作りますと後で失望する可能性はあまりないです。それが一つです。

もっと深い印象による結果は何でしょうか。すべてを愛します。すべての人を尊敬します。すべては本当は神様ですから。外から見ますとその人は悪い人、その人は罪人と考えますけれども、罪人の中にも神様、ブラフマンがいますから憎まないです。いつも我々は合わないことがけっこうありますね。最初は好きではない、次は嫌い、大嫌い、憎しみ。そうしますと自分の安心、幸せはできないですね。心の中にその憎しみがある間はできないです。その人の問題は心の問題です。

ウパニシャッドの言うことは「**すべての中にブラフマン**」です。その種類の見方はウパニシャッドを勉強するとわかります。ウパニシャッドを勉強しますと皆さんの中にブラフマンがいることがわかります。すべてはブラフマンです。

普通の考えでは、年を取った人を避けたいでしょう。普通の皆さんはそう考えますね。もちろん例外はありますけれども、普通の皆さんはその人とあまり話さないです。しかし、それは我々の考えではないです。年を取った人の中にも神様はいます。年を取った人の中にもブラフマンはいます。我々はいずれ年を取ります。

外からは皆バラバラに見えますけれども**皆さんの本性**のことを考えてください、とウパニシャッドは言っています。例えば、汚い水もＨ２Ｏ、きれいな水もＨ２Ｏではないですか。すべての水はＨ２Ｏですね。汚い水も**本性はＨ２Ｏ**ですから汚いものを取り除きますとまたきれいな水になります。例えば、我々の飲み水の源はどこですか。湖や川ではないですか。それを飲料用に処理していますね。初めはそれほどきれいではありませんから。きれいな水もＨ２Ｏ、それほどきれいでない水もＨ２Ｏ、汚い水もＨ２Ｏです。同じイメージで理解してください。**すべてはブラフマン**です。外から見ますと悪い人あるいは良い人という印象が出ますけれど、すべて中は（本性は）ブラフマンです。

我々の問題は、外を見て幻惑（delusion）が出ていることです。例えば、ピカピカしたものであればすべてが金というわけでありません（all the glitters is not gold）。或るものはとてもピカピカしていますが金ではないです。マーヤー（Māyā）の影響で我々に間違いの印象が出ています。マーヤーとは何でしょうか。「霊的な無知」です。「霊的な無知」の影響で我々は外から見ていろいろ間違いの印象が出ています。本当の中のものは違います。中はすべてブラフマンです。

霊的な無知を取り除かないと真理は出ないです。真理はありますけれど、どうして理解できていないのでしょか。なぜなら、マーヤーがあるからです。では、霊的な無知を取り除く方法は何でしょうか。その方法は「**識別**」です。

真理はカバーされています。無知の働き方は２つあります。一つは本当のものを隠しています。本当のものをカバーしています。もう一つのやり方は別のものを見せます。本当のものをカバーして別の印象を作っています。

これが**Āvarana-Vikshepa（アーヴァラナ－ヴィクシェーパ）**です。Āvarana（アーヴァラナ）は「カバーする（隠す）」という意味です。Vikshepa（ヴィクシェーパ）は「別のものを見せる」という意味です。本当のものを見せないで別のものを見せます。例えば、有名な例は、暗闇の中で、本当は縄であるのにそれが蛇に見える場合です。暗さの影響によってそれ（縄）を隠して蛇を見せます。それを隠さないと蛇を見せることはできません。

このようにまずマーヤーはカバーします（隠します）。無知でブラフマンをカバーします。無知で我々の本性をカバーします。これがマーヤーのアーヴァラナという働きです。そしてマーヤーの働きはそれだけでは終わりません。次に別のものを見せます。それがヴィクシェーパです。するとブラフマンが、若者、お年寄り、アメリカ人、インド人、日本人・・・という具合に見えてしまうのです。

別のものには２つの要素があります。それは「名前と形」です。マーヤー（霊的な無知）はブラフマンの本性を隠して我々に名前と形の付いた別のものを見せています。そして我々はその名前と形を基礎にして印象が出ています。「識別」して「名前と形」を取り除きますと残った部分は何ですか。我々の本性、ブラフマンです。「名前と形」を取り除きますと「本性」が出ます。それが「識別」です。しかし、頭だけで識別するのではなく、心のレベルなど**存在のすべてのレベルで識別**しないと本性はわからないです。

≪ウパニシャッドからの引用句⑰の説明≫

それについて次の⑰句で言っています。一つものを理解してすべてのものを理解することを。例えば、もしあなたが一滴の水を化学分析するとします。分析しますとＨ２Ｏ（水素（Ｈ）原子２個と酸素（Ｏ）原子１個）であることがわかります。水一滴を分析しましたがすべての水の本性はそれではないですか。すべての水を分析する必要はないですね。すべて本当は水ですから。水の本性を理解したいのならば、水一滴を分析するだけで足ります。

それと同じように、**一つの存在の本性を理解しますとすべての存在の本性が同じであることを理解することができます**。その存在は生き物でも、物でも同じです。一つの存在を哲学的に分析して、例えば、私自身を分析して私の本性が魂であることを理解すれば、すべての人の本性が魂であることを理解することができます。

それについて⑰句は何と言っているか見てください。チャーンドーギヤ・ウパニシャッドからの引用句です。

　⑰　yathā saumya ekena mṛtpiṇḍena

　　（ヤター　ソウミャ　エーケーナ　ムリットピンデーナ）

　　　sarvam mṛnmayam vijñatam syāt

　　（サルヴァㇺ　ムリンマヤㇺ　ヴィギャータㇺ　スヤート）

　　　vācārambhaṇam vikāro māmadheyam

　　（ヴァーチャラㇺバナㇺ　ヴィカーロー　マーマデーヤㇺ）

　　　mṛttikā ityeva satyam

　　（ムリッティカー　イティエーヴァ　サッティヤㇺ）

［マハラジの朗誦の後に続いて皆で朗誦し、最後にマハラジと皆が一緒に朗誦］

「ウパニシャッド」（前掲）に翻訳がありますね　p. 137、9～11行を見てください

　　*息子よ、の粘土を知ることによって、粘土で作られたあらゆる物が知られるように、*

*異なるのは名称のみであり、それは言葉から発生するのであって、真実はすべてが粘土*

*である、ということである。*

お父さんはアールニ・ウッダーラカ（Aaruni Uddalaka）で息子の名はシュヴェータケートゥです。チャーンドーギヤ・ウパニシャッドのその話はとても有名です。アールニもとても高いレベルの聖者でした。息子のシュヴェータケートゥが１２歳になったときアールニは息子に言いました。「シュヴェータケートゥ、今からあなたはグル（先生）のところに行って勉強してください。そうしないとブラフマン（ここではカーストの一つを意味します）になれません」と。

アールニはブラフマンのカーストでした。息子のシュヴェータケートゥに「ブラフマン（カースト）になるには勉強が必要です。もし勉強しなかったら皆さんはあなたのことをブラフマンではないと言いますよ。だからあなたは勉強してブラフマンになることが必要です。あなたは先生のところに行って教えを受けてください」と話しました。

注釈者のシャンカラーチャーリヤはこう言っています、「アールニ自身は聖者です。自分で聖典をたくさん勉強しました。では、どうして息子に先生のところに行ってくださいと言ったのでしょうか。たぶん、アールニは別の場所に行くので時間がないため息子に先生のところに行ってくださいと言いました」と。

シュヴェータケートゥはそれから１２年間いろいろ勉強して家に戻りました。お父さんは帰ってきた息子の顔を見てうぬぼれがたくさんあることを理解しました。本当は勉強しますとうぬぼれやエゴは出ないですし謙虚さがあるはずです。しかし、息子には謙虚さがなくうぬぼれがたくさんです。言葉だけ覚え、言葉だけ理解していますけれども、聖典のスピリット、聖典の真の教えは理解できていないことがわかりました。

そこで、お父さんは息子のプライドを取り除くために、「シュヴェータケートゥ、そのものを知っていれば、聞かないものを聞くことができ、考えないものを考えることができ、知らないものを知ることができる『そのもの』を知っていますか。これはとても基本的なことですが知っていますか」と質問しました。

シュヴェータケートゥには学者のようなプライド、うぬぼれがありましたが、お父さんにその質問をされて答えがわからずとても混乱しました。普通はそのようなものはないですね。のことを知っていれば金のことだけで銀のことは知らないでしょう。銀のことを良く知っていても金のことを知らないでしょう。科学をたくさん勉強していますが音楽のことを知らないでしょう。或るものを勉強してもそのものだけは理解できますが別のものは理解できないでしょう。

或るものを知ってすべてのものを知ることができる、その或るものがわからず、シュヴェータケートゥはとても混乱しました。「先生も知らないですから私は教えてもらっていません。だから私は知らないです」と言い訳をしました。このことについてシャンカラーチャーリヤはこうコメントしています、「どうしてシュヴェータケートゥは私の先生は知らなかったという答えをしたのでしょうか。そのように言わないとお父さんお母さんが、また先生のところに戻って（１２年間）勉強してくださいと言う可能性がありますから、先生も知らないと言い訳したのでしょう」と。

アールニは気にしないで教えています。それがその⑰句です。一つのものを理解すればすべてのものを理解することができるそのものは何ですか。それを次回説明します。